

1 学習指導に当たって

本単元は、我が国の国土の地域区分や区分された地域の地域的特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。しかし、資料から読み取った事項を関連付けて考え、表現する力が十分でないことが課題である。

今後の指導に当たっては、様々な視点や既習事項から考察したことを関連付け、生徒同士が交流し、表現することで、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図ることが必要である。

指導例

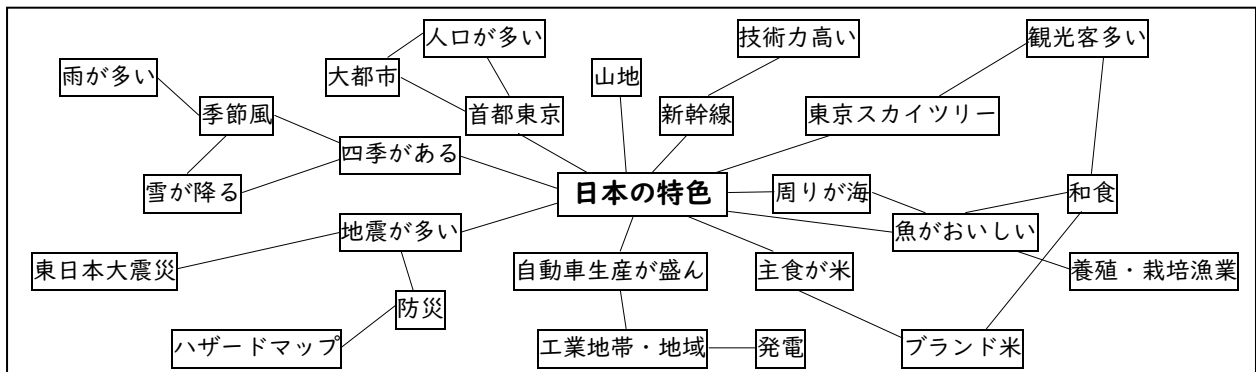
様々な視点を関連付けて考察させる指導
～単元名「日本の諸地域と地域区分」(第2学年)～

【指導の流れ】

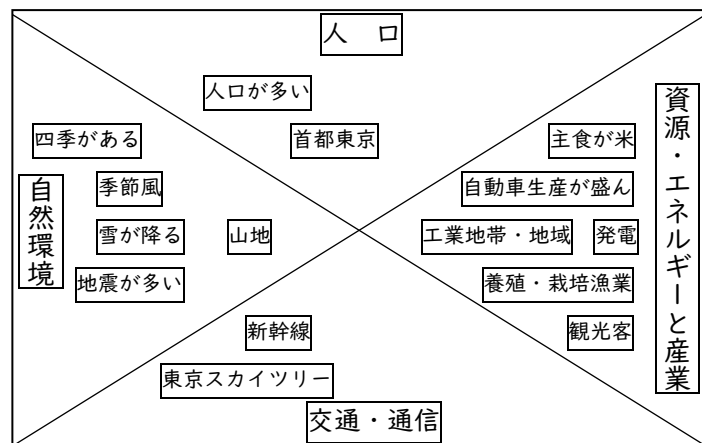
- 1 単元を貫く問い「日本には、なぜ様々な地域的特色があるのか」に対する仮説を立てさせる。(第1時)

学習活動① ウェビングマップに日本の特色を書き出す。

日本は地理的にどのような特色がある国でしょうか。思いつくことを書き出してみよう。



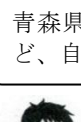
学習活動② 書き出した特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の4つのテーマに分類する。



4つのテーマに分類した特色を、さらに「全国に共通するもの」「地域によって異なるもの」に分類してみよう。



米が主食なことと、地震が多いことは全国共通だよ。



青森県では、米づくりは盛んだけれど、自動車生産は盛んではないよ。



青森県は冬に雪が降るけど、沖縄県は冬でも雪は降らないそうだよ。



日本には、なぜ様々な地域的特色があるのでしょうか。ペア(グループ)で説明したい特色を1つ決め、「●●だから◎◎のような地域的特色が見られるのだらう」といった仮説を立てましょう。

ポイント

単元を貫く問いに対する仮説を立て、その仮説を裏付け説明するための地域区分図を1テーマにつき1つ作成することや、単元末に各テーマで作成した地域区分図を関連付けて、日本の特色を説明するレポートを作成することを伝えることで、単元全体の見通しをもたせる。

2 テーマごとの授業で、右表の視点から「日本にはどのような地域的特色がどのように分布しているか」を捉えさせる。(第2時～第8時)

テーマ	視点	地域区分図
①自然環境	地形	○
	気候	
	地震・火山災害	
	気象災害	
②人口	人口構成	◎
	過疎・過密	
③資源・エネルギーと産業	資源・エネルギー	
	第一次産業	●
	第二次産業	
④交通・通信	第三次産業	
	情報通信網	
	高速交通網	○

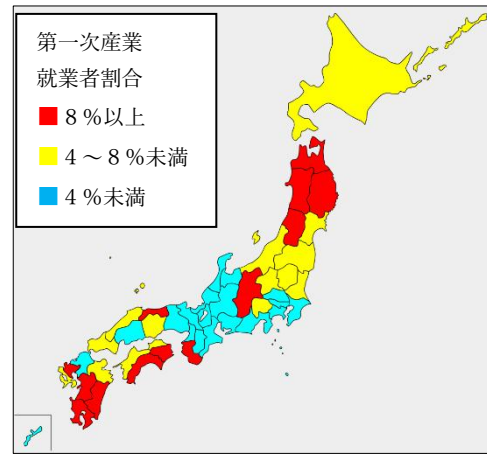
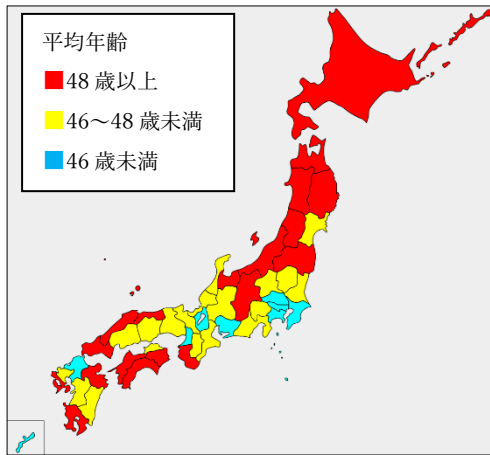
学習活動 仮説を裏付けるためには、各テーマでどの視点から地域区分図を作成すればよいのかを検討し、決定した視点に○をつける。地域区分図作成に必要な情報を収集する。

3 日本の地域的特色を分かりやすく説明するために必要な地域区分図を決め、作成させる。(第9時)

学習活動① ペア(グループ)で、表中の4つの○のうち、「説明したい特徴の地域区分図」を◎、「関連付ける地域区分図」を●にして、◎と●の地域区分図を作成する。(ICT 無料Webアプリ「白地図ぬりぬり」を使用する)



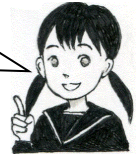
わたしたちのペア(グループ)は「②人口構成(都道府県別の平均年齢)」と「③第一次産業(就業者数の割合)」の地域区分図を作成しました。



学習活動② ペア(グループ)ごとに作成した地域区分図を関連付けた説明を発表する。



2つの地域区分図から、どんなことが考えられますか。



第一次産業に従事している人の割合が高い地域(●)ほど、平均年齢が高い(◎)傾向があると考えられます。

ポイント

時間があれば、2つの地域区分図を重ね合わせたオリジナルの地域区分図を作成させてもよいが、作業で終わらず、作成したオリジナルの地域区分図を分析したり考察したりすることを重視し、思考・表現(発表)させる。

4 日本の地域的特色を説明するレポートを作成させる。(第10時)

日本には、なぜ様々な地域的特色があるのでしょうか。他のペア(グループ)が発表した内容も参考にして、レポートを作成しましょう。



学習活動 単元を貫く問い「日本には、なぜ様々な地域的特色があるのか」を説明するレポートを、自分が地域区分図を関連付けて考察した内容と他のペア(グループ)が発表した内容等を基にして、一人一台端末を用いて作成し、提出する。